

2－E－2．松下電器産業(株)

事 例 件 名	海外持ち帰り商品の消費地港揚げによる国内輸送距離の削減とリードタイム短縮 (日本ビクター(株))
狙 い	海外生産の加速により輸入貨物が激増、中央倉庫を経由せず直接消費地倉庫に入庫することにより、国内一次輸送を減らし、かつトータルのリードタイムを短縮することを狙いとして実施。
具 体 策	1) 海外持ち帰り商品の地方倉庫(消費地倉庫)への入庫(改善前)海外持ち帰り商品の85%を中央倉庫(神奈川県大和市)に入庫し、地方倉庫へ→(改善後)中央倉庫に入庫せず、全体の46%を地方倉庫へ入庫(2003年度実績) 2) 複数の商品をミキシングし在庫の偏りを低減(改善前)2つの生産工場(マレーシア)の商品を工場毎にバンニングし、コンテナで地方倉庫へ陸揚げ→(改善後)工場敷地内で2工場での複数商品をミックスし、地方倉庫へ陸揚げ これにより適正数量をコンテナで送付することにより、効率よく無駄の無い輸送ができる 3) パレット輸送による荷下ろし作業の効率化と着荷荷痛みの防止(改善前)作業負担の大きい手積み手下ろし、ダメージ品の多発→(改善後)作業効率化を高めるためにパレット化を促進。コンテナからパレット単位で取り出すため、作業時間が大幅に短縮(2時間から30分へ短縮)
具体的効果	1) 輸入商品の国内移動最小化によるコスト削減と工数削減、および物流品質の向上 2) リードタイム短縮:5日→3日 3) CO2排出量削減1,167t-CO2(2003年度実績)
経 緯 課 題	主要積出し港が東南アジアに多いため、日本までの船足を考慮すると、約2週間前には地方での在庫配分を決定しなければならない。当初は必要のない地域へ大量に送付してしまったり、必要な地域の在庫が不足する事態が発生した。これを改善するため、現地への出荷オーダーを発行する部門が国内営業部門と十分に調整がとれるよう、調整をグローバルIPSセンターが中心となった結果、地方センターへの搬入後の無駄な地方間移送の低減に効果があった。